

平成 2 1 年度 実施事業	事務事業名	登別温泉コンシェルジュサービス運営事業 (ふるさと雇用再生特別対策推進事業)
-------------------	-------	---

区分	番号	名 称
章	3	大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち
節	1	活力に満ちた魅力あふれる産業をつくる
施策	1	魅力ある観光地づくり
小分類	1	ときめきと感動のある観光地づくり
主要な施策	2	観光客のニーズに即応できる受入体制の充実
事務事業番号	005	事務事業コード 31112005 事業開始年度 平成 2 1 年度 事業終了年度 平成 - 年度

会計種別	一般会計	予算書上の事務事業名	登別温泉コンシェルジュサービス・アンテナショップ運営事業費
------	------	------------	-------------------------------

部 名	観光経済部	グループ名	観光室 観光振興 G
-----	-------	-------	------------

統合前または名称変更前の事業名	
-----------------	--

事務事業の目的と成果

対象	(何を対象にまたは誰を対象にした事務事業なのかを具体的に記載ください) 外国人観光客、日本人観光客、市民
手段 (事業の内容・活動)	(目指す姿を実現するためにどのような手法で行うのか、事業の内容を具体的に記載ください) ふるさと雇用再生特別対策事業交付金を活用し、プロポーザルにより事業実施団体を募集する。 事業の実施にあたり、アンテナショップを開設し、英語圏からの観光客をはじめ、近年増加が著しい中国語圏の観光客等に対し、通訳のできるコンシェルジュを配置して観光案内等を行う。 なお、平成 2 3 年度については、緊急雇用創出推進事業により実施する。
目指す姿 (成果)	(事務事業を実施することでどのような状態にしたいのか具体的に記載ください) 外国人が安心して観光できる街を目指す。
根拠法令等	(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称をすべて記載ください) ふるさと雇用再生特別対策事業実施要領

指標の推移

区 分		単位	区分	21年度 実績	22年度 目標	23年度 目標	24年度 目標	25年度 目標
成果 指標	コンシェルジュ利用者数	人	目標値	33,000	36,000			
			実績値	33,000				
	対応言語数	ヶ国語	目標値	4	4			
			実績値	4				

事業費の推移

区 分			単位	21年度 決算	22年度 当初予算	23年度 見込	24年度 見込	25年度 見込	23～25年度 合計
事業 の 財 源 内 訳	国庫支出金	名称	千円						0
	道支出金	名称 ふるさと雇用再生特別対策推進事業補助金	千円	16,239	17,942				0
	地方債	名称	千円						0
	その他	名称	千円						0
	一般財源	名称	千円						0
合 計				16,239	17,942	0	0	0	0
(参考) 上記事業を実施する上で 必要となる人件費			職 員	千円	1,294	1,356			
			嘱 託 員	千円	0	0			
			臨時職員	千円	0	0			
			合 計		1,294	1,356			

担当グループによる事務事業評価の内容

1. 事務事業の妥当性について			
今後市が事業主体として実施していくことは妥当ですか？	→	妥当である 妥当ではない	→ 妥当である理由、妥当ではない理由は何ですか？ 観光戦略として外国人観光客をターゲットとしたプロモーションを展開しているため、受け入れ態勢を整えることが急務である。
2. 事務事業の成果について			
成果はあがっていますか？	→	成果があがっている どちらかといえばあがっている 成果があがらない	→ 成果があがっている理由、あがらない理由は何ですか？ 開設1年目で周囲にあまり周知されていなかったにも関わらず、多くの観光客が利用した。
3. 事務事業の成果向上について			
成果を向上させることはできますか？	→	大きく向上させることができる 少し向上させることができる 向上させることはできない	→ どのように向上させますか？ 向上させることができない理由は何ですか？ 外国人が安心して観光できる街となるよう、外国人のニーズを把握し、滞在しやすい観光地を目指すことで、外国人客が増加すると考える。
4. 事務事業の経済性・効率性について			
成果を落とさずにコスト（予算や人工、所要時間）を削減することはできますか？	→	削減できる 削減できない	→ どのような方法でコストを削減しますか？ 削減できない理由は何ですか？ 予算の内容がほとんど人件費であるため、削減は難しい。

担当グループによる評価

維持	左記の評価を選択した具体的な理由（根拠）	外国人の誘客を促進するため、必要な事業であることから、継続して実施する。
----	----------------------	--------------------------------------

総合的な評価（当該事務事業の方向性）

維持	備考
----	----

評価の種類

- 拡大（事務事業の規模や経費を拡大し、これまで以上に強力に推進する事務事業）
- 維持（現状の対象や目指す姿、手段などに変更が無く、今後も実施する事務事業）
- 改善（現状の手段や経費などを見直し、成果指標の向上等を行う必要がある事務事業）
- 休止（暫定的に休止する事務事業）
- 終了（当初から決められていた事業期間が終了または成果品等が完成し、目的を果たした事務事業）
- 廃止（当該事務事業の予定を変更し、廃止する事務事業）